

胆嚢癌における進行度別にみた肝外胆管切除の治療成績 に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

1985 年 1 月から 2018 年 12 月までに当院で胆嚢癌に対して外科切除を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2027 年 3 月

研究目的：胆嚢癌手術において、肝外胆管切除が患者さんの予後や再発にどのような影響を与えるかを、がんの進行度別に明らかにすることを目的としています。

研究方法：研究対象者の方の診療録（カルテ）を後ろ向きに調査し、患者背景（年齢、性別等）、治療内容（抗がん剤や手術の詳細）、病理検査結果（切除した組織の顕微鏡診断）、および術後の経過（再発の有無や生存期間）などの情報を収集して解析します。なお、本研究は既存の診療情報を用いる研究であり、新たな検査や試料の採取は行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、患者さんの診療録や病理検査結果などの既存情報(以下参照)を用いた後ろ向き研究です。新たな検査や治療は行いません。

年齢、性別 手術内容 病理診断結果 再発の有無および形式 生存期間

4. 個人情報の取り扱い

個人が特定されないように匿名化した上で解析を行い、研究成果は学会や論文で公表されます。

5. 研究への参加拒否について

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

6. お問い合わせ先

大阪国際がんセンター 消化器外科 長谷川 慎一郎

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181（代表）

メールアドレス：shasegawa@gesurg.med.osaka-u.ac.jp

研究責任者：消化器外科 小林 省吾

-----以上